

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	社会福祉法人酒田市社会福祉協議会
実習期間	平成 31 年 2 月 4 日 ～ 平成 31 年 2 月 15 日、2 月 20 日
学生氏名	後藤 千花
実習プログラム	<p>2 月 4 日 地域福祉係地区担当 8:30～12:00 「平成 30 年度酒田市東日本大震災追悼の集い（仮）」の会議へ同行 13:00～16:00 議事録の作成</p> <p>2 月 5 日 ボランティア・公益活動センター 9:00～12:00 酒田市ボランティア・公益活動センターの説明 13:00～16:00 交流広場見学・絵灯籠作り</p> <p>2 月 6 日 地域包括支援センターにいだ 8:50～9:40 地域包括支援センターについての説明 10:00～11:30 いきいき百歳体操、地域交流の場への参加 11:30～12:00 利用者宅訪問同行 13:00～13:15 利用者宅訪問同行（介護認定更新申請代行） 14:00～14:50 サービス担当者会議同行 15:00～15:40 病院訪問同行（利用者面談） 15:50～16:30 利用者宅訪問同行（区分変更申請）</p> <p>2 月 7 日 午前：地域福祉係地区担当 午後：生活自立支援センターさかた 8:50～11:30 松陵いこいの場サポーター会議へ同行 13:30～14:50 ケース会議へ同行 15:00～16:00 生活自立支援センターさかたの説明</p> <p>2 月 8 日 午前：成年後見事業 午後：福祉サービス利用援助事業 8:30～9:15 成年後見事業の説明 9:15～11:00 成年後見事業へ同行、平田支部訪問 13:00～14:30 福祉サービス利用援助事業の説明 15:00～16:45 担当者会議への同行</p>

	<p>2月12日 会長講話</p> <p>9:30～12:00 会長講話「社会福祉協議会で求められる職員像」</p> <p>13:00～17:00 社会福祉協議会ラジオ原稿作成</p> <p>2月13日 課題に取り組む</p> <p>8:30～12:00 社会福祉協議会ラジオ原稿作成</p> <p>13:00～14:50 課題に取り組む</p> <p>15:00～15:40 里仁館とのキャンドルナイト打ち合わせ</p> <p>16:00～17:00 課題に取り組む</p> <p>2月14日 課題に取り組む</p> <p>8:30～12:00 課題に取り組む</p> <p>14:00～14:30 民生委員との打ち合わせへ同行</p> <p>14:30～16:30 課題に取り組む</p> <p>2月15日 成果報告会</p> <p>8:30～9:30 課題に取り組む</p> <p>10:00～12:00 亀ヶ崎社会福祉協議会「第二回会員研修会」へ同行</p> <p>13:00～15:15 成果報告準備</p> <p>15:30～16:30 成果報告会</p> <p>2月20日 ラジオ収録</p> <p>9:00～11:00 ラジオ収録</p> <p>課題挑戦型インターンシップということで、あらかじめ課題が与えられていた。その課題とは「若い世代等に向けた社協事業・活動の理解促進・情報発信策の企画・制作」である。このインターンシップは、2週間のうち初めの1週間は社会福祉協議会の事業・活動を体験し、残りの1週間でその課題に取り組むという内容である。</p>
<p>学び・気づき (300字程度)</p>	<p>初めの1週間、社会福祉協議会の業務を幅広く体験し、社会福祉協議会は、福祉でイメージする「クライアントと社会資源の仲介」だけではなく、地域に存在する団体と市、人と人を仲介する役割を担っているということを知った。クライアントへの直接的な支援ではない、縁の下の仕事を行っている。また、社会福祉協議会はボランティアの行動原理に基づいて事業を行っていると感じ、腑に落ちた。ボランティアとは自分からやろうと思って実践するものである。地域に入り住民と共に活動し、発見した課題に気づいたら知らないふりをせず、実践しているのである。よって社会福祉協議会は幅広い分野で多くの事業を行っているのだ。社会福祉協議会は、少子高齢化が進み、地域の繋がりが希薄化している現代において必要な存在だと思う。</p>

<p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p>	<p>このインターンシップを体験して初めて、酒田にはボランティア活動等の非営利で活動している人や、地域のために活動している人の存在を知った。また、支援を必要としている人の存在も知ることができた。地域にはどのような人がいるのかを知ることにより、その地域がどのような地域であるのかが分かると思う。私は酒田市出身であるが、まだまだ知らないことばかりだと感じた。これからもサークル活動等の課外活動を通して、地域と多く関わっていきたい。</p>
<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>地域福祉係地区担当の地域に入り、住民と共に考えサポートする業務や、地域包括支援センターにいだでのクライアントに直接関わる業務など、幅広い分野を体験することができる点が魅力だと感じた。講義で習った制度や事業などを実際に見て体験し、今後の講義では具体的に制度や事業について考えることができると思う。社会福祉協議会の職員の皆様だけでなく、地域住民や多職種の方々ともかかわることができた。どのように連携しているのか、接しているのかは実際に見ないと分からない。そこも見ることができた。幅広い業務を体験できるため、自分に合うもの合わないものも知ることができる。今後の実習や就職活動に生かせると思う。</p>
<p>写真 (1~3点)</p>	



## (別紙 12)

## 大学「地(知)の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください(様式は自由です)。

実習企業・機関	社会福祉法人 酒田市社会福祉協議会
実習期間	令和 元年 9月 9日 ~ 令和 元年 9月 13日
学生氏名	岡田祥弥
実習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会、学区・地区社会福祉協議会、新草の根事業、福祉サービス利用援助事業、成年後見制度等についての説明</li> <li>・法人後見事業訪問、学区・地区社協運営事業同行</li> <li>・福祉サービス利用援助事業新規利用者の担当者会議、地域包括でのケース相談会議同席</li> <li>・いきいき百歳体操、高齢者擬似体験の見学・参加</li> <li>・防災訓練(避難訓練・消火訓練・災害ボランティアセンター運営訓練)、ワークショップ</li> </ul>
学び・気づき (300字程度)	<p>酒田市社会福祉協議会は、住み慣れた地域で安心して生活できるように、民生委員や福祉協力委員などの地域住民の方々との協力体制を基盤として、「福祉でまちづくり」を展開している。福祉サービス利用援助事業の新規利用者の担当者会議等に同席させて頂き、一つ一つの会議で大切なのは、利用者の方の問題解決だけでなく、支援していく上での支援者同士での考えや思いを共有し、実現したい思いを統一していくことが大切なのだと学んだ。そして、福祉サービス利用援助事業や介護サービス等もあくまで手段の一つであり、最も重要なのはその手段を通して利用者の方の「尊厳」をいかに保持できるかが重要なのだと分かった。</p>
今後に向けた 抱負 (200字程度)	<p>座学が多かった中で、自分がまだまだ勉強不足であると改めて痛感した。実際の福祉の現場では福祉分野の知識だけでは対応できない問題も出てくると思うので、教科書に載っていることは必要最低限の知識として学び、福祉分野にかかわらず、分からないことを調べて自分の知識の幅を少しでも広げられるように努めていきたい。支援策を考えていく上では、利用者の意思や考えを最大限に尊重させたいという思いが根底にあることが分かり、私自身も、これからの勉強や実習を行っていく中で、自分を基準にして考えるのではなく相手の立場になり、気持ちに寄り添うことを心がけて行動するようになっていきたい。</p>
インターンシップを して気づいた、実 習先の魅力 (300字)	<p>今回は社会福祉士の体験実習生の方々との同じプログラムだったため、座学が多く酒田市社会福祉協議会で行われている事業やサービス等を広く学び、どんな事業なのか一つ一つ確認しながら学習することができた。また、ケース検討担当者会議や訪問など、貴重な現場にも同席、同行させて頂くことができた。振り返りの時間を長くさせて頂いたので、分からなかった点などを質問する機会があり、その日毎の学びをしっかりとインプットできたと思う。いきいき百歳体操の見学や、コミセンなどに同行させて頂き、地域の方々や職員の方が積極的にコミュニケーションをとっており、改めて社協と地域住民の方々との繋がりが深いのだと感じた。</p>
写真(1~3点)	



## (別紙12)

## 大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

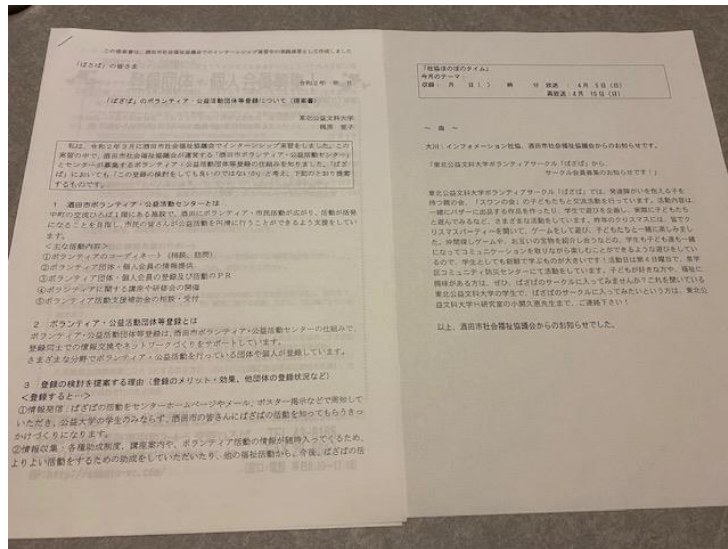
※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	社会福祉法人 酒田市社会福祉協議会		
実習期間	令和 2年 3月 3日 ~ 令和 2年 3月 9日		
学生氏名	梶原亜子		
実習プログラム	日程	時間	内容
	1日目 3月3日(火)	8:30~9:00 9:00~10:30 10:30~12:00 13:00~14:00 14:00~16:00 16:00~17:00	朝礼、挨拶、プログラムの確認 酒田市社会福祉協議会について 学区・地区社会福祉協議会・新草の根 事業の概要 法人後見業務審査会の事前会議に同行 ハーバーRADIOの原稿づくり 一日の振り返りと明日の確認
	2日目 3月4日(水)	8:30~9:00 9:00~10:00 10:00~12:00 13:00~16:00 16:00~17:00	朝礼・前日の振り返りと本日の予定確認 にいだの機能について いきいき100歳体操 にいだの機能について、ケース記録閲 覧 一日の振り返りと明日の確認
	3日目 3月5日(木)	8:00~9:00 9:00~12:00 13:00~14:30 14:30~16:00 16:00~17:00	朝礼・前日の振り返りと本日の予定確認 生活困窮者自立相談事業について 生活福祉資金について 支援調整会議に同行 自立支援センターケース記録閲覧 一日の振り返りと明日の確認
	4日目 3月6日(金)	8:30~9:00 9:00~9:30 9:30~10:30 10:30~12:00 13:00~14:30 14:30~15:00 15:00~16:00 16:00~17:00	朝礼・前日の振り返りと本日の予定確認 市役所に同行 法人後見事業について 銀行に同行 福祉サービス利用援助事業について 裁判所に同行 ケース記録閲覧 一日の振り返りと明日の確認
5日目 3月9日(月)	8:30~9:00 9:00~11:00 11:00~12:00 13:00~15:00	朝礼・前日の振り返りと本日の予定確認 ボランティア公益活動センターについ て ボランティア公益活動センター業務体 験 被後見人への訪問、生活事業所、社協	

		15:00~16:30	(平田、八幡支部)へ訪問 提案書作成
		16:30~17:15	一日の振り返り、挨拶
学び・気づき (300字程度)	<p>「いきいき100歳運動」に参加させていただいた際、職員が仕切り役をするのかと思いきや、地域の方々が進行から終わった後の片づけまで、全て自分達で行っていた事に驚きました。支援を行う側は、つい、利用者を思うがゆえに、支援を過度に行ってしまうこともあると思います。しかし、本人の持っている力を引き出すためにも、程よい距離感で、支えてあげる事もとても大切だという事を学びました。また、支援を行う過程で、大量な資料を扱い、個人情報として丁寧に保管をしていることに気づき、普段から資料を丁寧に扱い、管理する習慣を身に着ける事が必要だと感じました。また、「酒田市ハーバーRADIO」の原稿作りをさせて頂いた際には、様々なアドバイスを受け、色々な年齢層の方に分かりやすく届くような文を作ることの難しさを痛感しました。支援を必要とする方たちに届けるための情報発信力はとても必要になる力だと思いました。</p>		
今後に向けた 抱負 (200字程度)	<p>実習を通して、福祉職員には様々なスキルが求められるという事が分かりましたが、スキルを活かすためには、根本として、今、大学で学んでいるような基礎的な知識が必要になるという事に気づき、日々の学習の重要性をとても実感しました。また、ボランティア活動やサークルの活動等でも、コミュニティー能力や人脈作り、自発性等の、色々な力を鍛えることができるということに気づいたので、残りの大学生活のなかで、積極的に学び、活動することで、自分を成長させていきたいと思いました。</p>		
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)	<p>インターンシップを通して、社会福祉協議会は、支援を地域住民に提供する役割だけでなく、地域住民の公益活動を支援したり、バックアップする役割がとても強い機関だという事が分かりました。地域住民の生活を守ると共に、地域住民の自発性や積極性を大切にしていることに魅力を感じました。また、社会福祉協議会には、高齢者支援から障がい者支援、生活困窮者自立支援などの、幅広い福祉支援の部署があることで、障害を抱えた高齢者の単身家庭などというような複合した問題を抱えている利用の支援を行う場合でも、専門の職員に助言をもらうなど、職員同士協力し合うことで、より適切に支援を行う事ができるという点が、強みであると感じました。</p>		



写真 (1~3点)



ハーバーRADIO 原稿